

研究方法 A-II (量的研究方法)

更新日：2021/02/25 10:17:00

開講年度	2021	学期	後期	シラバスコード	88090		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	880900
担当教員	姫野 稔子						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						

授業の目的

調査研究における質問票の作成、調査の実施、回収した質問票の扱い方、分析の手法を実践を通して習得する。

到達目標

1	研究の枠組みの作成方法を理解することができる。
2	研究の枠組みと質問票の関係を理解することができる。
3	測定用具の開発方法を理解することができる。
4	データ収集・データクリーニング・データコーディングの方法を理解することができる。
5	SPSSを用いた分析方法を理解し、実施することができる。

DPとの関連

DP1 ○

DP3 ◎

DP4 ○

授業計画

1	調査研究の進め方 【授業内容】 【授業方法】講義
2	質問紙の作成方法・データ収集方法 【授業内容】 【授業方法】講義
3	研究の枠組みの作成方法（1） 【授業内容】理論的枠組みの作成方法を理解する 【授業方法】講義
4	研究枠組みの作成方法（2） 【授業内容】概念枠組みの作成方法および測定用具の開発・使用のルールについて理解する 【授業方法】講義
5	データ入力とデータクリーニングの方法 【授業内容】回収した調査票のデータクリーニングの方法を理解する。 【授業方法】講義
6	コーディング表の作成とデータコーディング 【授業内容】回収した調査票の結果をコーディングする方法を理解する 【授業方法】演習
7	Excell への入力、ダブルエントリー、データクリーニング 【授業内容】調査結果を入力し、ダブルエントリーおよびデータクリーニングする方法を理解する。 【授業方法】演習
8	Excell データを SPSS に読み込む。データの加工と分析方法 【授業内容】SPSSの構成を理解し、データの加工の方法および分析方法を理解する。 【授業方法】演習

学習方法

事前学修としては、研究方法の量的研究の内容及び研究方法 A-Iの内容の既習箇所を復習しておくこと。提示した資料及び理解を促進するための文献を熟読しておく。事後学修としては、毎回の資料を復習し、理解が十分でない箇所を次回に質問する。単元の後半は、配布されたフォーマットに架空の調査データを入力して授業資料とし、それをもとに演習を展開する。その際はSPSSを搭載したPCを使用する。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。

姫野：金曜日の昼休み、t-himeno@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない。授業内にて適宜指示する。

参考文献

- ・古谷野直・長田久雄：実証研究の手引き—調査と実験の進め方・まとめ方—。東京，ワールド プランニング，1992。
- ・竹原健二・渡辺多恵子：看護・医療系の調査研究エッセンス。東京，医学書院，2010。

評価方法

レポート及び課題（60%），授業参加度（40%）
